

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
E111B019	特別活動の指導法(Methodology for Extra-Curricular)											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 長谷川 祐介 E-mail yhasegawa@oita-u.ac.jp 内線 7541						
授業の概要	教育課程における特別活動の位置づけを理解したうえで、特別活動の目標や各内容の機能、課題について理解する。受講生同士による意見交換等や模擬授業の実践を通して、特別活動を実践的に指導する上で必要となる実践方法を受講生が主体的に考え、理解することを目指す。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1 2 3 4 5 6 7 8 9 10					
目標1	教育課程の意義、目標を理解できる。											
目標2	学級活動、児童会活動(生徒会活動)、学校行事、クラブ活動それぞれについて、学校教育における機能と課題を理解できる。											
目標3	学級活動の模擬授業を通して学校教員として必要となる特別活動に関する実践的指導力の基礎を理解できる。											
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	特別活動とは何か? : 集団活動を特質とした教育活動											
2	教育課程における特別活動の位置づけ: 教科等との違いと関連											
3	特別活動の目標(1): 特別活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点											
4	特別活動の目標(2): 集団や社会の形成者としての見方・考え、自主的実践的態度の育成											
5	特別活動の目標(3): 特別活動で育成を目指す資質・能力											
6	学級活動(1): 合意形成に向けた話し合い活動のあり方											
7	学級活動(2): 意志決定につながる指導のあり方											
8	児童会・生徒会活動: 内容と特質											
9	クラブ活動: 内容と特質											
10	学校行事: 内容と特質											
11	教育課程全体で取り組む特別活動の指導のあり方・特別活動の評価											
12	学級活動の模擬授業(1): 学級活動の指導案作成											
13	学級活動の模擬授業(2): 学級活動の実践											
14	学級活動の模擬授業(3): 実践を振り返る											
15	特別活動における家庭・地域住民と関係機関との連携											
ラ ア イ ニ テ ン イ グ グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	学生のコメントペーパーへのリプライ、ディスカッション、模擬授業の指導案作成、模擬授業の実施				工 夫 そ の 他 の						
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	教科書等の情報が必要に応じて予習する(15.5h)。指導案の作成(5h)。模擬授業の実施に向けた練習(2h)。										
	事後学修	教科書や参考書、授業で作成したノート等を用いて復習する(17.5h)。授業で作成した模擬授業の指導案の修正(3h)。模擬授業の相互観察(2h)。										
教科書	小学校学習指導要領解説特別活動編 (平成29年6月 文部科学省) 中学校学習指導要領解説特別活動編 (平成29年7月 文部科学省)											
参考書	文部科学省『特別活動指導資料 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)』文溪堂、2019年 文部科学省『学級・学校文化を創る特別活動 中学校編』東京書籍、2016年											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題レポート	40%										
	授業時のコメントペーパー	60%										
注意事項	授業中、よりよい環境で学習できるよう心がけること。											
備考												
リンク	URL											